

令和2年度

南大原遺跡

発掘調査情報 (1)



発掘調査 最終段階です

6月下旬から発掘調査を再開しました。昨年10月の台風19号による千曲川氾らんなどの影響で調査ができなかった部分を対象に、9月半ばまで実施します。今回の調査をもって県道改築工事に伴う発掘調査は全て終了します。



新たな竪穴建物跡を発見

たてあな たてものあと



ほぼ円形で南側（写真奥）は後世のかく乱を受けている

細長く狭い調査区から、弥生時代の竪穴建物跡1軒がみつかりました。過去の調査も含め本遺跡25軒目です。竪穴建物跡は当時人々が暮らした住居と考えられます。調査の積み重ねによって2100年前の弥生ムラの全容が明らかになりつつあります。



雨二モ 夏ノ暑サニモマケズ

例年になく雨の日が多かった梅雨が明けた途端、記録的な酷暑が続いています。農家の皆様と同じく、私たちの仕事も天気に大きく左右されます。近隣の野菜畑や果樹園を参考に、発掘現場を丸ごと遮光シートで覆ってみました。作業員の熱中症予防や地面の乾燥予防に効果は抜群です。夏の調査に欠かせないツールとなりました。



暑さ対策の遮光シート

日差しを遮り、風通しが良く体感気温は外気より数度低く感じる



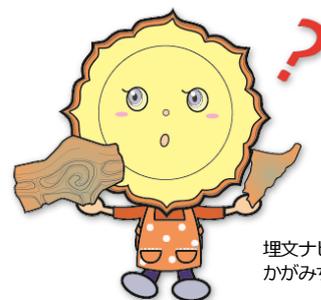
弥生土器の復元

発掘調査と並行して、長野市篠ノ井にあるセンター整理室では昨年度出土した土器の復元作業を進めています。バラバラになった土器のかけらを組み合わせて、足りない部分を石こうで埋めていくと、弥生人が使った当時の形に復元できます。南大原遺跡の弥生土器は薄くもろいため、慎重な作業が続きます。



土器の復元作業

回転テーブルに置いた弥生土器に石こうを流し込む



埋文ナビゲーター
かがみちゃん

復元された弥生土器

二千年の眠りから覚めた弥生土器
壺や甕などのバラエティーに富む

★南大原遺跡の出土品が長野県立歴史館で展示されます★★★

前回の県道改築工事に伴う発掘調査で 2013 年に発見された弥生時代の鉄製品が、この秋、県立歴史館企画展に出展されます。信州の弥生時代を語る上で外せない重要な出土品です。柳沢遺跡出土の弥生時代の銅製品（中野市博所蔵）など県内資料も多数集まる、見ごたえのある展示会です。

○県立歴史館秋季企画展『稲作とクニの誕生—信州と北部九州—』

1. 会 期 9/15 (火) ~11/29 (日)
2. 場 所 長野県立歴史館 企画展示室 (千曲市大字屋代 260-6 (科野の里歴史公園内))
3. 問い合わせ 長野県立歴史館 電話 026-274-2000 H P <https://www.npmh.net/index.php>